

平成24年度 高知ろう学校 学校経営方針

I こんな学校にしたい 理念の共有

1 「ミッション」

— 聴覚障害教育の学校として、存在価値のある学校になる —

- ①教職員がやり甲斐を感じる学校
- ②子どもたちが力をつける学校
- ③保護者に信頼される学校
- ④地域や関係機関と連携・協働する学校

2 「ビジョン」

— 子どもたちが元気に充実した学校生活を送り、
満足（感動）して進級・卒業できる学校を創る —

- ①学校は楽しいところ
 - ・すすんで、あいさつができる
 - ・友だちがたくさんできる
 - ・自分の良さが発揮できる
- ②学力を伸ばし、授業が分かる
 - ・人の話をよく聞く
 - ・よく考え、自分の意見が言える
 - ・心とからだをきたえる
- ③夢を持ち、叶えるところ
 - ・社会の動きをよく見る
 - ・友だちに関心を持つ
 - ・多くの経験をする

3 「スローガン」

組織の力

- ①協力と感謝し合う組織
- ②仲間を大切にする
- ③言うべきことは言うが、相手の気持ちを考え、やさしさを持った対応を

情報の共有**98%**

- ①風通しのいい職場づくり
- ②社会人として、人として成長し合う職場づくり
- ③指は自分に向ける（管理職としての姿勢）

整理・整頓

- ①校舎内外の環境美化（一つ拾えば一つきれいになる精神）
- ②教室等、掲示物、机等の整頓（構えと思考の構造化）
- ③凡事徹底（当たり前前を当たり前前、つづける）

Ⅱ 本年度の重点教育目標と対応

1 聴覚障害教育のセンター的役割

- ①聴覚障害教育支援センターの機能の充実と発揮に務める。
- ②教育相談体制の強化と教育相談事業等の充実に努める。
- ③学校関係者等への具体的な支援及び連携をより強化する。

2 家庭・地域との連携及び学校評価の活用

- ①評価委員会の意見や評価アンケートの客観性をもとにした学校づくりを行う。
- ②学校の使命と役割を共有し、知恵と工夫で、校外に情報発信を行う。
- ③体験入学、学校行事等を通じて地域や関係機関との交流を深める。

3 子どもが主体的に学び、学習意欲が持てる環境づくり

- ①読書力診断検査等による評価を反映させ、基礎学力の定着と学力の向上を目指した分かる授業に取り組む。
- ②読み書きの力を伸ばし、各教科等の指導をとおして国語力の向上に取り組む。

4 教職員の専門性の向上、指導力を高める研究・研修の推進

- ①各教科、領域等の個別の指導計画や個別の教育支援計画の策定と、RPDCAサイクルを構築・実施することで、学習のねらいの明確化や学習効果を高める。
- ②専門性や指導力を高めるため研究授業等の実施と研究・研修活動を活性化する。
- ③第46回全日本聾教育研究大会高知大会に向け、研究組織の力を高める。
- ④特別支援学校教諭免許状の習得機会の促進と免許保有率をあげる。

5 健康・安全に配慮した環境の整備

- ①心の教育を推進する。
- ②危機管理マニュアルの周知徹底と、防災学習や避難訓練等を実施する。
- ③食育の推進と学校給食等の安全衛生管理を徹底する。

6 キャリア教育の推進と進路指導の充実

- ①幼小中高とキャリア教育学習プログラムによる系統的な学習を実施する。
- ②一人一人のニーズに応じたきめ細かな進路指導に取り組む。
- ③就業体験の実施と就業体験学習パンフレット及び進路通信の有効な活用を図る。
- ④家庭・関係機関と連携した個別移行支援計画を策定するとともに卒業後等のアフターケアを充実する。

7 職員の服務規律の遵守

- ①報告・連絡・相談を励行する。
- ②適正な会計等の執行を徹底する。
- ③交通違反、セクハラ、体罰等の服務を厳正に守る。